

# あぷろうち

~ approach ~



日本労働組合総連合会  
群馬県連合会(連合群馬)

発行人 清村宗一  
編集人 中川文蔵

〒379-2166  
群馬県前橋市野中町361番地の2  
(群馬県勤労福祉センター2F)  
TEL.027-263-0555(代)  
FAX.027-261-0549  
Eメール rengo-gunma@mtg.biglobe.ne.jp

2002年10月号  
No.127

## 時代と共に 新たなる幕開け “第1回新時代労研委” 開催



去る9月30日に群馬県経営者協会と連合群馬の第1回労使合同研究委員会を開催しました。この委員会は、今年3月に群馬県経営者協会と連合群馬が締結した『雇用安定推進宣言』に基づき設置するもので、『群馬における新たな時代の労使研究委員会』、略称“新時代労研委”としてスタートを切ることとなりました。

先ずはじめに『合同研究委員会』を実効あるものとするため、①共同声明の確認事項、②委員会の目的・任務、③県民意識アンケート、④群馬県の雇用情勢、⑤連合群馬ハローワーク前アンケートなどを踏まえ、労使双方が現状認識を共有化しました。そして、当面の課題として『中高年の雇用のミスマッチ解消に向けた環境整備』について取り組むことを確認し、具体的な議論を開始しました。

その一つが『ハローワークにおける相談体制の充実』であり、ハローワークを訪れる多くの求職者の声に応えるものとして、ただ単に“職の紹介・斡旋”だけではなく、個人の能力や経験、そして職種選択に対するアドバイスやカウンセリングの強化を求め、その体制整備を求める政策を具体化するものであります。

その二つは『中高年のトライアル雇用に向けた体制整備』であります。中高年層は、家庭においてはその生活を支える柱で

あり、失業は生活の危機に直結するものとして、速やかな再就職が必要な年齢層でもあります。しかし、現状では中高年層の求人は数も限られており、失業期間が長期化する傾向も顕著となっています。実際に、中高年層の求職者は能力・経験を有していても、求人側の年齢制限などにより就職出来ないケースが見られます。

だからこそ、実務を通して求人ニーズにかなうかどうかトライアルの期間を設けて、再就職への道を拡大しようとするものであり、過去には労働省の支援制度として整備された経過もありました。

これらの課題について、労使がお互いの立場で意見交換を行った結果、『ハローワーク相談体制の充実』については具体的な提言として、『中高年のトライアル雇用』については詳細な制度・内容などを検討し、引き続き議論することとしました。

“新時代労研委”では年内の政策提言に向け議論を進めるとともに、県内労使関係の発展と実のある研究委員会となるよう、労使が社会的な責任と役割を果たすことも併せて確認しました。

**議論の進め方・・・**

現状の問題点の共有化  
論点整理と基本的な方向性

- ・ 論点と基本的な方向性の整理

**名称と構成・・・**

新時代労研委

↑ ↓

クロス・ファンクション・コミット (CFC)

- ・ 実務的な詳細、具体案検討
- ・ 様々な問題について議論

**中高年ミスマッチ解消対策調査**

～県労働政策課「事業所アンケート」～

ミスマッチを経験した事業所が採用できなかった理由

能力・経験	57.7%
給与・賃金	26.1%
年齢	18.9%
職場の労働環境	11.9%
将来性に対する考え方	9.6%
その他	3.4%
不明	11.1%
その他	10.4%
その他	25.5%

**会社勤めの方の意識**

会社をよくするための努力をしていますか？

7割の方が、会社のために努力！

会社は事業目標達成に努力している	31.8%
職場改善活動を通して努力している	21.8%
問題点について自ら改善に努力している	20.4%
特に何もしていない	2.6%
その他	9.6%
不明	13.9%